

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
看護倫理	4年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	野上 聡子 ※
授 業 概 要					
<p>看護の場面は医療現場のみならず、在宅や施設など地域で生活する療養者・家族も対象となる。それぞれ多様な場面における行為そのものは倫理と切り離すことができない。臨床実習でも同様であり、看護援助を行ううえで、看護倫理の原則について理解し、どうすることが最善なのか道徳的判断のもと行動することが求められる。看護専門職者としての振る舞い方や守るべき行動に繋げるための基本的知識を養い、倫理的課題に対する検討方法を学び、倫理的問題が何かを知るプロセスを踏むことで倫理的感性を養う。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倫理とは何か、行動の規範としての法と倫理の関係を認識する。</li> <li>2. 地域を含めた看護場面において、遭遇する倫理的ジレンマについて場面を通して説明する。</li> <li>3. 倫理的問題を明確化し、解決のための基本的プロセスを理解する。</li> <li>4. 演習にて倫理的問題をグループメンバー間で倫理原則に沿って検討できる。</li> <li>5. あらゆる看護の場面でなぜ倫理が必要なのか考察する。</li> </ol>					
実務経験のある教員					
野上 聡子、霜垣 美由紀：看護師としての臨床現場での経験をふまえ、看護倫理の基本や重要性を教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	1. 看護管理と倫理 看護倫理とは何か <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護実践倫理の変遷・概念（復習を含む）</li> <li>2) 看護者の倫理綱領と倫理の原則（復習を含む）</li> <li>3) 法と倫理・人権と権利の尊重</li> <li>4) 組織行動としての倫理・看護者の基本的責務</li> <li>5) 病院・施設における倫理における体制と組織的取り組み</li> </ol>				野上 聡子 ※
	2. 臓器提供における倫理				霜垣 美由紀 ※
4-7	3. 暴言暴力及びハラスメントにおける倫理  4. 多様な現場で看護職が遭遇する倫理的ジレンマ（倫理的葛藤） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ジレンマとは</li> <li>2) 多様な現場で看護職が悩む場面と特徴・倫理的感受性</li> <li>3) 倫理的ジレンマを事例から考える</li> </ol>				野上 聡子 ※
8-15	5. 倫理的問題の明確化と解決のためのプロセス（事例検討） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 倫理的問題の所在の明確化</li> <li>2) 倫理的行動の4つの要素</li> <li>3) 倫理的問題に対する検討</li> <li>4) 倫理的組織文化の醸成</li> </ol>				
学 習 方 法					
講義、個人ワーク、グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験、レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 系統看護学講座 別巻 看護倫理 宮坂道夫 他 医学書院 身近な事例で学ぶ看護倫理 宮脇美保子 中央法規					